



めたばる

発行

自衛隊目達原駐屯地
〒842-0032 佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



上記掲載のQRコードから目達原駐屯地ホームページを開覧できます。

巻頭の辞

九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令
陸将補 吉野俊二

陸上自衛隊は「即応機動する陸上防衛力」を構築するため、部隊の新・改編などの様々な改革を推進しており、目達原駐屯地においても本年3月、新たに編成された第105補給大隊及び第103弾薬大隊をはじめ、駐屯地隊員一同が南西の防衛体制の要となるよう日々訓練を重ねています。

厳しい安全保障環境の中、様々な変化が求められる半面、我々は変わることのない良き伝統を維持し知識や技術を継承していかねばなりません。この目達原に所在する多くの隊員は、兵站（ロジスティクス）を専門とする技術者集団であり、家で例えるなら基礎の部分であり、木で例えるなら根っここの部分です。陸上自衛隊の任務を支える我々の訓練や作業には決して派手さは無く、目立つものでもなく地道な行動です。しかしながらこの地道な訓練や作業を確実に積み重ね伝統を継承していくことが延いては隊員の知識や技術を向上させ、部隊が精強になり、そして駐屯地としての信頼に繋がっていくものと考えます。家の基礎や木の根っこがしっかりしていなければ家は傾き木は枯れてしまいます。そのためにも我々はこれからも愚直に任務に邁進して参ります。

最後になりましたが、9月14日（土）鳥栖市民文化会館において地元の学生や西部方面音楽隊の支援のもと「ふれあいコンサート in トス」を開催しますとともに10月6日（日）には目達原駐屯地創立65周年記念行事を行います。多くの皆様には是非ご来場いただき、普段は見ることもできない、感じ取ることができない自衛隊・隊員の一面を発見していただきたいと思います。駐屯地隊員一同心よりお待ちしております。



6月駐屯地朝礼にて



キンザー基地司令官への感謝状授与式にて

隊内生活体験

目達原駐屯地は、4月16日から18日及び、4月23日から25日にかけて、佐賀県内の各企業の新入社員131名に対し2泊3日の隊内生活体験を行いました。今年度は、前段を西部方面ヘリコプター隊及び西部方面管制気象隊第1派遣隊が担任し、準備をしっかりと整えて新入社員を受入れました。

参加者は、自衛隊の日常時限による規則正しい集団生活を体験するとともに、基本教練や自衛官と同様の重い荷物を背負い約10kmの徒歩行進訓練などを体験し、忍耐力を身につけることができました。

生活体験終了時には、達成感と充実感に満ち、体験者の間には企業間の垣根を越えた同期の絆が芽生えました。

今回参加した体験者は「生活体験で経験した団体生活の中で規律や時間を守ることの重要性を学ぶこと

西方オピニオンリーダー研修支援

目達原駐屯地は、6月26日、西部方面隊が計画する西方オピニオンリーダー研修の支援を行いました。駐屯地司令をはじめとする駐屯部隊長による部隊概要説明・航空機の体験搭乗及び装備品展示・九州補給処の補給倉庫・整備工場見学等を実施して自衛隊に対する認識・理解を深めて頂き、九州・沖縄地区住民への自衛隊に関する情報発信に寄与することができました。



基本教練教育

が出来ました。今後は、社会人としてこの経験を生かして行きたい。」と述べていました。

駐屯地は、今後も佐賀県唯一の陸上自衛隊として企業・学校に対し職場体験等を積極的に支援し、自衛隊の任務・駐屯地への理解を促進するとともに地域に愛され頼りになる駐屯地を目指してまいります。



ヘリ装備品展示



駐屯地・部隊概要説明



補給集約倉庫見学



合同整備工場見学



体験搭乗(CH-47JA)



訓練終了！！任務完遂！！



行進訓練終了後、班長から労いの言葉

令和元年度 防衛・駐屯地モニター委嘱式

目達原駐屯地は、4月12日、令和元年度防衛及び駐屯地モニターの委嘱式を行いました。

委嘱されたモニターの6名（防衛1名・駐屯地5名）の方々は、それぞれの任期（防衛2年・駐屯地1年）の期間において駐屯地で行っている各種行事等に参加して頂き、ご意見・ご要望などを伺い、今後の駐屯地としての施策の参考にさせていただきます。

防衛モニター



(H30～)
(鳥栖市) 吉川 様



(鳥栖市) 中村 様

禁煙マラソン

目達原駐屯地では、健康管理施策として、6月の1ヶ月間、自力による禁煙マラソンを実施しました。参加者277名は、各人「個人禁煙記録表」を持参、日々の禁煙状況を記録、週1回自由参加で、禁煙状況を語り合い励ます場として定例会を実施しました。

6月11日、12日は、自衛隊福岡病院看護官山添1尉より、20名に対して禁煙個別指導が実施されました。

7月となり禁煙マラソン完走者約10名に対して、衛生課より完走賞を授与しました。



参加者による定例会



個別指導(福病 山添1尉)

新着任部長紹介



九州補給処装備計画部長
1等陸佐 加藤 武 則
出身 大分県
職種 需品科
要望事項 「戦況推移を予期した業務の実施」「明るく楽しく」



駐屯地モニター
(鳥栖市) 中町 様
(鳥栖市) 川原 様
(鳥栖市) 堤 様
(吉野ヶ里町) 光安 様
(上峰町) 田中 様

かささぎのつばやき

目達原駐屯地は6月を禁煙マラソン月間に設定し、喫煙者に対し自主的な禁煙(減煙)を呼びかけ、駐屯地を挙げて禁煙推進に取り組まれました。化学科出身の駐屯地司令からは朝礼の際、「タバコはニコチンとタールと放射性物質が含まれており、非常に危険である。」と科学的な解説を含めた教育(訓示)を頂き、禁煙を後押しされました。また、衛生課長は禁煙参加者をきめ細やかにサポートし成功に導くため、禁煙ニュースの配信、隊内放送、定例会の開催や禁煙成功者に対する完走証明証の発行等を計画しました。

その甲斐あって、駐屯地初の取組みとなる禁煙マラソンは総勢277名、喫煙者の約5割が参加する大規模なものとなりました。

1カ月における禁煙への取組みを経て、駐屯地では約10名程度の隊員が禁煙を達成することが出来ました。(禁煙成功された方、おめでとうございます！)また、残念ながら禁煙まで至らなかったものの減煙に成果を収めることができたと思います。禁煙に関して民間企業の取組みを見てみると、医療品メーカーのファイザーなどは既に喫煙者の採用を取り止めており、あのソフトバンクも20年には就業時間中を全面禁煙にするなど社員の健康造りのための禁煙支援に大きく力を入れています。

我々自衛隊員が厳しい任務を遂行するためには、各人自身とともに健康であることは当然のことであり、禁煙に関する今後の民間企業以上の対応をしていくべきだと思います。

6月の禁煙マラソンを契機として、駐屯地内で禁煙に関する意識が高まり1人でも多くの卒煙者が生まれる事を願います。

九処 総務部長 弥永1佐

九州補給処

令和元年度方面補給整備
業務担当者集合訓練

九州補給処は6月26日から28日の間、令和元年度方面補給整備業務担当者集合訓練を実施しました。方面隊各部隊の補給整備業務担当者を一室に集め、「昨今の内外情勢及び厳しい予算環境に鑑み、方面隊兵站の実効性向上のため各部隊等の協力をお願いする。また、安全管理を徹底されたい。」と処長の説示とともに、部隊の隊務に即した装備品等の可動率の維持向上及び事案発生防止に資する諸施策について説明しました。



方面總監部装備部担当者による教育



処長による説示

補給処格闘基幹要員集合訓練



練成の成果を発揮する隊員(検定)



気迫の一撃

九州補給処は5月21日から6月21日までの間、目達原駐屯地において「補給処格闘基幹要員集合訓練」を行いました。本訓練は、戦闘員に必要な知識及び技能を修得させるとともに、格闘指導者に必要な資質を養成して、各支部・各部で実施する、格闘練成基盤の確立を目的に年1回行っています。

訓練に参加した整備部通信電子課の室岡3曹は「今回の集合訓練で、体の使い方を他の隊員に伝達・指導することが、難しいことを実感しました。今後は、部隊指導官になるために心技体を鍛え、次の目標に向かっていきます。」と意気込みを述べていました。

保安検査官等集合訓練



前照灯試験器の教育



走行装置検査要領の教育

フォークリフト教育

九州補給処補給部は6月19日から6月28日までの間、フォークリフト教育を担当しました。本教育は、定年退職者及び任期満了退職者に対して、援護業務の一環として九州全域の各部隊から教育を希望する退職予定者約200名に対して各回30名、年間6回の教育を実施しています。



トラック協会による教育

今回教育を担当した、奥川2尉は「教育するうえでスタッフと綿密な調整を図りながら、いかに被教育者に自信を持たせるかを考えた。話し合いながら教育したことで、今回無事全員合格の目標を達成することができました。」と述べています。補給部は、引き続き今年度残り5回の教育も全員合格を目指し、隊員の技術の向上及び西方の就職支援に寄与します。



教官による実技教育

西部方面後方支援隊

第1回予備自衛官募集訓練



小火器射撃訓練

体力検定、特殊武器防護及び職務訓練の課目を真剣な眼差しで訓練し、予備自衛官の資質を養うとともに、必要な知識及び技能について練度の維持を図りました。参加した予備自衛官からは、「質の高い射撃予習訓練のおかげで、射撃検定の結果が向上した」「新しい装備について学び勉強になった」「来年も万全な体調で訓練に参加したい」との声が聴かれました。



大型車の車両整備訓練

即応予備自衛官募集訓練 第105補給大隊

第105補給大隊は、部隊新編から6月までに6度におたる即応予備自衛官募集訓練を、北熊本駐屯地において第1補給中隊が、目達原駐屯地及び川内駐屯地において第2補給中隊が実施しました。これまでの訓練では、服務教育、基本教練から始まり格闘訓練、対特殊武器防護など共通課目の訓練を行いました。また、日頃、目達原や川内訓練している即自隊員も北熊本に集まり、6月2日に射撃検定を実施しました。事前の射撃予習の結果もあり、射撃を実施した14名の即自隊員の内、準特級が2名、最高は45点という結果で、同じ日に射撃を行った常備自衛官にも勝る結果を叩き出しました。そして、6月に入るといよいよ補給大隊の任務に



射撃検定(北熊本)



補給カタログ用法(川内)

即応予備自衛官募集訓練 第103弾薬大隊

第1弾薬中隊は、令和元年6月1日・2日の両日、第5次即応予備自衛官募集訓練を行いました。7名の即応予備自衛官が参加した訓練初日は、小銃射撃検定に向けて終日、射撃予習を実施しました。参加した即応予備自衛官の中には、89式小銃を初めて手にする海自・空自出身の隊員も含まれ、長時間に亘る訓練にも集中力を保持し、全弾命中を目標に真剣に取り組んでいました。2日目は、常備自衛官と共に福岡射場において小火器射撃検定を実施しました。

初夏を思わせる晴天の中、前日の射撃予習訓練の成果が発揮され、参加した即応予備自衛官7名全員が見事合格し、内2名が準特級、3名が1級という良好な成績を修めました。

物料投下訓練 本部付隊投下支援小隊

西部方面後方支援隊本部付隊投下支援小隊は、令和元年5月15日から17日までの間、日出生台演習場において、物料投下訓練を実施しました。新編後、初の実投下訓練であり、隊員は、緊張しつつも、普段の練成果を如何なく発揮して、無事に10梱の軽物料投下、航空機誘導及び物料回収を行い、回転翼機からの空中投下支援能力を向上させることができました。小隊については、今年度2コ班の戦力化確立を目標に、航空科部隊及び被支援部隊と連携して、空中投下支援能力の向上を図り、真に戦える小隊を目指す、引き続き、任務遂行能力の向上を図っていく所存です。



ヘリコプターからの物料投下



モニターで弾痕を確認する 秋山即応予備2曹



初めての89式小銃で訓練を行う元海上自衛官の大井即応予備士長

第3対戦車ヘリコプター隊

ヘリコプター射撃訓練

第3対戦車ヘリコプター隊は、6月9日から6月14日までの間、鹿児島県大隅半島の南端に位置する佐多射撃場において、ヘリコプター射撃訓練を実施しました。

本訓練を通じて、A H操縦士の洋上固定目標に対するヘリコプター射撃能力、整備員の武装整備能力及び射撃支援能力の向上を図るとともに、水陸機動団特科大隊との協同による統合火力誘導訓練を実施して、統合運用の実効性向上に資する射撃練度の向上を図りました。



TAKE OFF !



OH-6飛行前点検



70mmロケット弾の搭載



試運転



射撃前点検

西部方面ヘリコプター隊

屋久島・口永良部島災害派遣活動

令和元年5月18日、鹿児島県屋久島において集中豪雨により約260名の登山客が山中に孤立するともに、5月20日には口永良部島において土砂崩れによる給水施設の破損被害が発生しました。

西部方面ヘリコプター隊は、5月18日深夜に非常勤務態勢に移行し、災害派遣活動を開始しました。

九州南部は断続的に降水がある中、第2飛行隊長以下の派遣部隊は鹿屋まで推進した後、天候回復



映像伝送機の離陸



鹿屋基地への推進



CH-47搬出



12普連の指揮所資材空輸(国分駐屯地)

第4飛行隊

師団総合戦闘力演習

第4飛行隊は、令和元年6月5日から9日までの間、日出生台演習場を実施された令和元年度地域配備師団総合戦闘力演習に参加しました。

本演習では、フェーズ1と3に区分され、飛行隊は、フェーズ1の場を活用して第1次飛行隊訓練を実施して、攻勢作戦における飛行隊の行動を演練し、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作の向上を図りました。

また、師団隷下各部隊に対し、飛行隊のあるべき姿を普及して、野外における航空機運用の特性等の認識の共有を図りました。



隊容検査(車両の積載状況を確認する第4飛行隊長)



係留点における航空機誘導



戦闘用防護衣を着用して保線を実施した齋藤3曹



ガス攻撃による除染行動



航空機の完全偽装(UH)

フェーズ2では、#1師団訓練検閲支援に統裁部として25名が参加し、フェーズ3では、部隊装備火器集合訓練にHMG及びLAM射撃の射手として2名が参加し、射撃練度向上を図りました。

第321基地通信中隊

西部方面システム通信群第102基地システム通信大隊第321基地通信中隊は、令和元年4月15日から6月20日までの間、3回にわたる中隊以下の訓練を実施し、通信所における各種行動を練成し、各通信所におけるシステム通信所要対応、障害対処及びサイバー攻撃等対処能力の向上を図るとともに、併せて部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を練成しました。



ガンハンドリング訓練



指揮所活動状況



装脱面訓練



仮通信所用天幕展張

西部方面管制気象隊第1派遣隊

西部方面管制気象隊は、令和元年5月26日から28日までの間、大矢野原演習場において本年度第2回管気隊訓練を実施しました。本訓練では部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を演練し、野外行動能力の向上を図りました。今後も訓練の成果を積み重ね、真に信頼される部隊の構築を目指していきます。



A3展開訓練



A3と警戒任務の隊員

西シ通群本部中隊映像写真小隊空中伝送班
鹿児島県口永良部島土砂災害に係る
応急復旧等災害派遣活動支援

空中伝送班は、5月21日から22日にかけて、鹿児島県口永良部島土砂災害に係る応急復旧等災害派遣活動支援の為に、西部方面ヘリコプター隊と協同しヘリ映像伝送による情報収集を実施し、西部方面総監部の情報要求に資する現地被害状況を適切にナレーション配信する等所命を完遂しました。天候の影響により被害地域への推進ができず高遊原分屯地、次いで鹿屋基地に足止めとなる中、撮影対象地域が屋久島から口永良部島に変更される等状況の変化に対応し関係部隊と密接に連携して任務を完遂する等、日頃の訓練成果を十分に発揮することができました。空中伝送班は引き続き映像伝送能力の向上に努めつつ即応態勢を維持して参ります。



飛行前ブリーフィング



映伝機機内における活動



離陸前安全点検(鹿屋基地)



機側におけるブリーフィング

定年退官者・定年退官予定者

▽	18	13	12	1	8	31	31	30	16	10	7	▽
日	日	日	日	日	月	日	日	日	日	日	日	日
後支隊	総務部	調整部	整備部	3対戦	調整部	整備部	整備部	整備部	整備部	整備部	整備部	整備部
水上1曹	加藤曹長	久保山1曹	橋本2佐	山之上1尉	草場2尉	谷口准尉	内村1尉	小川准尉	小川准尉	小川准尉	小川准尉	小川准尉
▽	29	28	26	21	18	7	9	▽				
日	日	日	日	日	日	日	日	日				
装計部	総務部	後支隊	調整部	3対戦	調整部	整備部	整備部	整備部	整備部	整備部	整備部	整備部
一瀬1曹	高野1尉	四元1曹	濱崎2佐	溝口准尉	木下曹長	木下曹長	木下曹長	木下曹長	木下曹長	木下曹長	木下曹長	木下曹長

飛翔 ～新たな時代へ～

ふれあいコンサートin
トス 2019

日時 9月14日(土)
場所 鳥栖市民文化会館
開演 15:00
入場 無料
※14:00から会館入口にて座席券を配付

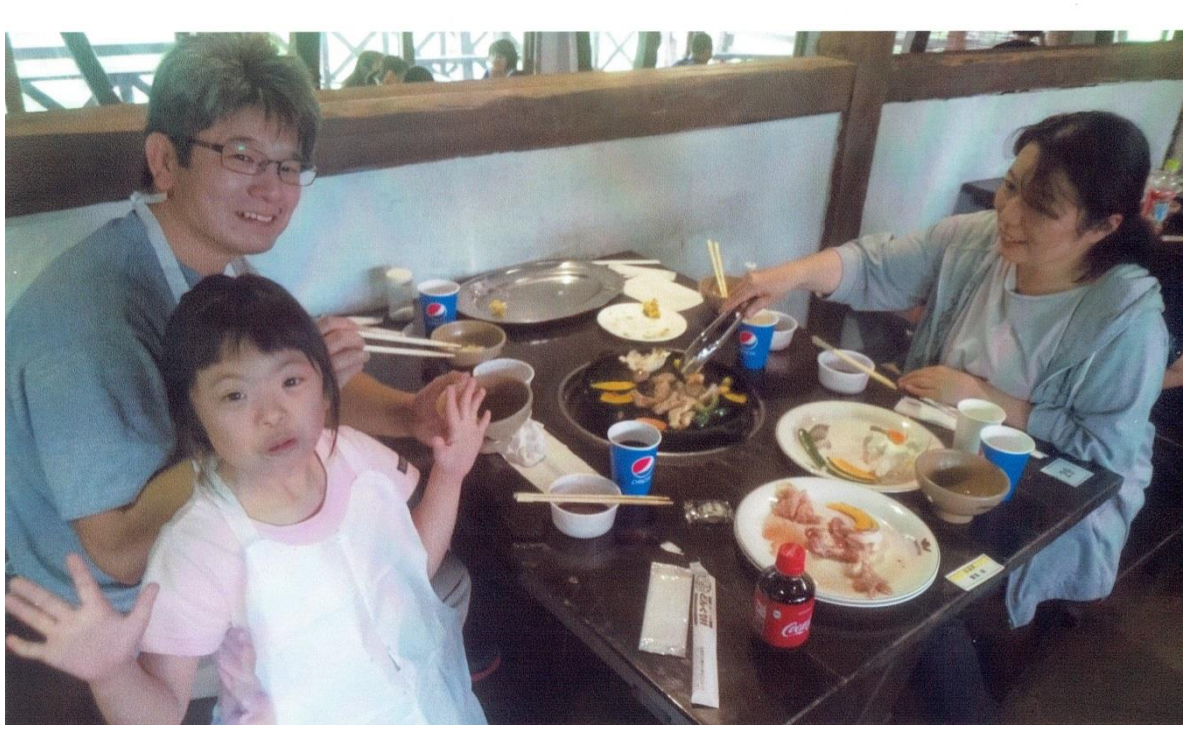
主催 陸上自衛隊目達原駐屯地
出演 西部方面音楽隊
鳥栖商業高等学校 香楠中学校
赤熊太鼓(吉野ヶ里町)
協賛 東部地区防衛協会
鳥栖市防衛協会
問い合わせ 目達原駐屯地広報室
0952-52-2161

曹友会

ふれあいどんぐり村
バーベキュー



令和元年6月1日に佐賀市三瀬村どんぐり村において佐賀筑後地区曹友会主催で家族ふれあいどんぐり村バーベキューを実施しました。参加総人数は189名で総参加家族59組中目達原



からは19組54名が参加しました。当日は、天気も良く、家族連れの隊員は集合前からどんぐり村の施設を楽しんでいました。また、昼食のバーベキューにおいても盛況であり、参加者は「次回も参加したい、充実した一日を過ごせました。」との声が多く聞かれました。



広報室編集後記
何気なくテレビを観ていたとき片腕の無い少年の実話が放送されていた。その少年は片腕でありながら野球をしていてキャッチャーでメジャーリーガーを目指しているのだから。その子は言う。「できないって言う言葉が一番嫌い。本気でやろうと思ってる努力すれば何でも出来る」。その少年の前向きな姿勢や日々の努力が放送されるのを見るにつれ、業務の多忙や人手不足を理由に「できない」「つらい」といふ言葉の未熟さや前向きな姿勢を見直そうという気持ちになった。みなさん、職場で「できない」「つらい」といふ言葉が聞こえてくるときは、(とく)めたばる新聞7月号のお味はいかがでしたでしょうか？
多くの担当者の方たちのご協力と上司の皆様にご指導をいただきつつ趣向を凝らしながら味付けをしていきます。また駐屯地ホームページに過去のめたばる新聞を全面カラーバージョンで掲載させていただきます。(ぶっちゃん)